

## 藤沢市地産地消推進計画の改定について（最終報告）

### 1 これまでの検討経過

藤沢市地産地消推進計画は、平成21年9月議会において、議員提案による「藤沢市地産地消の推進に関する条例」の制定に基づいて策定され、3年ごとの改定を経て、現在第4期計画の最終年度を迎えています。

計画の改定にあたり、令和3年8月及び10月の藤沢市地産地消推進協議会での協議を踏まえて、第5期計画（案）を策定し、令和3年12月藤沢市議会定例会建設経済常任委員会において、第5期計画（案）の報告を行いました。その後、パブリックコメントを実施し、令和4年1月24日に開催した藤沢市地産地消推進協議会において、第5期計画（最終案）を策定しました。

### 2 パブリックコメントの実施結果

- (1) 意見等の募集期間 2021年（令和3年）12月3日から  
2022年（令和4年）1月4日まで
- (2) 意見等の提出者数及び件数 2人 4件
- (3) 意見等の反映状況
 

ア	計画に反映させた意見	0件
イ	すでに計画に位置付けられている意見	0件
ウ	今後の取組の参考とする意見	4件
エ	その他の意見	0件
- (4) 提出された意見等の概要と市の考え方について
  - ア 「第5章 第5期計画における施策」に関する意見等

No.	意見等の概要	市の考え方
1	全国的にもオーガニック給食が少しずつ進んでいる。オーガニック給食までは届かなくても、有機野菜を給食に使っていくことは、藤沢市の子どもたちの食について考えを深める機会と有機野菜の地産地消の取り組みにつながっていくと思う。有機野菜を学校給食に取り入れていくことを要望します。	地産地消を推進するため、慣行栽培及び有機栽培による農産物の区別なく、学校給食における藤沢産農産物の利用品目の拡大及び供給量の増加に努めています。現在、有機栽培の農産物として、あいがも米が学校給食で提供されていますが、第5期計画では、第5章の重点的に取り組む施策の「藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化」の中で、有機栽培による農産物を含めた藤沢産農産物の更なる供給拡大について検討してまいります。（今後の取組の参考とする意見）

No.	意見等の概要	市の考え方
2	<p>アンケート結果を見て、多くの藤沢市民が地産地消推進について関心を持ち、地元産の農水産物を購入したいと思っていることが分かるが、現状では市民の手に十分に届いていないという意見が多いように思います。小売店で大々的に地元産の商品を扱うことが難しく、改善ができないのであれば、小売店で扱う以外の方法で消費者に届ける方法を考える必要があると思います。既に購入意思のある消費者に届けるためのフローの作成に取り組むことを希望します。</p>	<p>藤沢産農水産物の購入については、量販店での藤沢産コーナー設置の取組を進めるほか、市役所本庁舎やイベントにおける販売を行い、身近な場所で購入できるよう取組を進めています。第5期計画では、第5章の長期的に取り組む施策の「藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化」の中で、量販店での藤沢産農水産物の取扱量の増加等について検討してまいります。</p> <p>また、藤沢産農水産物の小売店以外での新たな購入方法については、藤沢市地産地消推進協議会等の意見を踏まえ検討してまいります。<b>(今後の取組の参考とする意見)</b></p>
3	<p>多くの世代に効率よく情報を届けるには、LINEのプッシュ通知や携帯のアプリを利用することが効果的ではないか。</p>	<p>藤沢産農水産物の情報提供については、地産地消の独自のウェブサイトである「おいしい藤沢産」ホームページやフェイスブック等により行っています。第5期計画では、第5章の長期的に取り組む施策の「藤沢産農水産物等のおいしい・旬の普及啓発・情報提供」の中で、LINE等を活用した新たな周知方法について検討してまいります。<b>(今後の取組の参考とする意見)</b></p>

イ その他の意見等

No.	意見等の概要	市の考え方
4	地産地消の弊害となっているのは、生産者側の問題点もあるため、可能な限り、多くの生産者側の意見を聞き、貴重な担い手や生産環境を守っていくことも重要だと考えます。直売をメインで行っている小規模生産者の中には販売場所の問題点を抱えているなど、短期的に解決できる問題点を抱えている場合もあるため、小規模生産者の直面する問題の洗い出しに取り組むことを希望します。	農産物の販売場所の課題については、市役所本庁舎やイベントにおいて販売する機会を設けています。また、農業への新規参入者に対する生産面の技術指導や規模拡大などの要望については、市やJA、神奈川県農業技術センターなどがフォローアップを行っております。今後につきましても、生産者が直面している課題の把握に努め、その課題の解決に向けて、関係機関と連携して取り組んでまいります。(今後の取組の参考とする意見)

※意見の趣旨を損なわない程度に、表記を変更しております。

**3 第5期藤沢市地産地消推進計画（最終案）**

別添資料2のとおり

**4 今後のスケジュール**

令和4年2月 市議会定例会建設経済常任委員会に最終報告

3月 第5期計画策定

4月～ 第5期計画実施

以 上

(事務担当 経済部農業水産課)